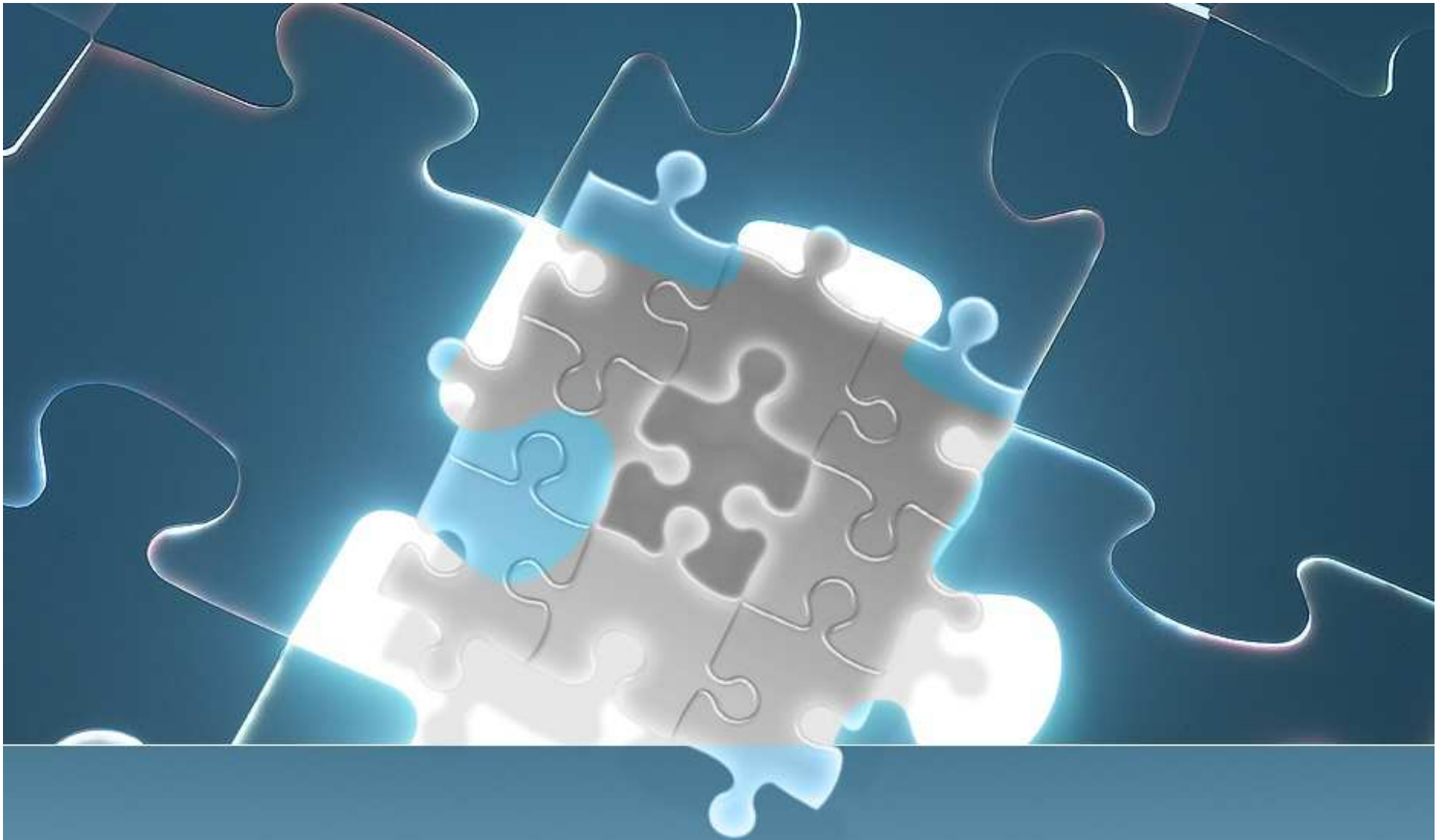




政策立案技術としての土木計画学

秀島栄三(名古屋工業大学)・榊原弘之(山口大学)



行政委員会・審議会における 土木計画研究者の役割・立場

- 専門的, 経験的知見の披露

だけでなく



- 先が読めない将来に対する意見の陳述
- コーディネーション(ファシリテーション)



政策立案プロセス

社会基盤整備では代替案を選択する場面がある

どのように選択するか？

好き嫌いではない、
客観的データが揃っているとは限らない、
ローカルナレッジもある、
そもそもどう判断したらよいかよくわからない、
(それでも選択ができてしまう)。

cf. 藤垣裕子「専門知と公共性」東大出版会

事後作業

無い

浚渫

発現時期

曝気

早い

植生

影響範囲

広い

都市河川の水質改善に係る技術的代替案の参画型選択プロセスに関する考察, 秀島, 新田, 土木計画学研究・論文集No.22, 2005.

$$U(T_j) = a_1x_{1j} + a_2x_{2j} + \dots + a_ix_{ij} + \dots + a_nx_{nj} \quad (i=1, 2, \dots, n, j=1, 2, \dots, m),$$

$$T_j = (x_{1j}, x_{2j}, \dots, x_{ij}, \dots, x_{nj})$$

$$(j=1, 2, \dots, m)$$

「東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会」 ニュースレター 第06号

協議会事務局（中部地方整備局河川部）
平成 19 年 6 月 日発行

【第5回作業部会結果報告】

- 開催日時：平成 19 年 6 月 19 日（火）13:30～17:00
- 開催場所：名古屋市中区丸の内 アイリス愛知 「コスモス」「水仙」
- 参加人数：70名

■第5回作業部会参加組織

東海総合通信局、東海農政局、中部経済産業局、中部近畿産業保安監督部、中部地方整備局、国土地理院中部地方測量部、中部運輸局、名古屋地方気象台、岐阜県県土整備部、愛知県建設部、愛知県海部建設事務所、三重県県土整備部、名古屋市、海津市、津島市建設部、愛西市、甚目寺町、大治町、蟹江町、桑名市、川越町、名古屋港管理組合、四日市港管理組合、中日本高速道路㈱、中部電力㈱、東邦ガス㈱、西日本電信電話㈱名古屋支店、㈱NTTドコモ東海、日本赤十字社愛知県支部＜オブザーバー＞
第四管区海上保安本部、岐阜県警察本部、愛知県防災局、愛知県警察本部、津島市総務部、（社）中部経済連合会

■第5回作業部会の概要(その1)

1. 全体会議

中部地方整備局の平光情報管理官より、開会の挨拶がありました。続いて事務局から、危機管理行動計画の策定の経緯と今後について、また、高潮に加え洪水も含めた複合災害による大規模災害の想定と、関連する高潮水防警報の発信の具体的な考え方を提案しました。

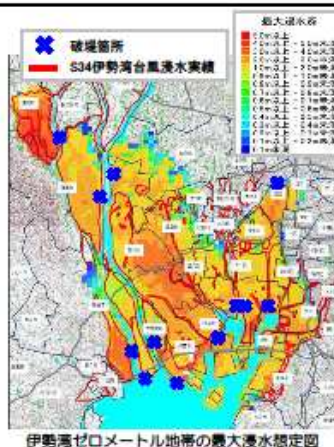
複合災害の計算条件

■高潮計算条件

- ①台風規模は国内で発生した既往最大の台風である室戸台風(上陸時の中心気圧910hpa)とした。
- ②台風の進路は、伊勢湾台風の進路をもとに、名古屋に最も影響を与えるコースとした。
- ③破壊箇所はゼロメートル地帯における浸水が最大となる箇所を想定した。
- ④堤防高は、計画堤防高とした。

■洪水計算条件

- ①1/1000標準降雨による洪水とした。
- ②破壊箇所は、各河川で1箇所とし、ゼロメートル地帯における浸水が最大となる箇所を想定した。
- ③堤防の条件は、庄内川のみ計画堤防高とし、その他の河川が、現況堤防高とした。



伊勢湾ゼロメートル地帯の最大浸水想定図

【注意】右上の最大浸水想定図は、あくまで、一つの条件下(想定する台風、破壊条件など)において想定されたものであり、条件が変化することにより、今回想定している浸水深よりも深くなったり、浅くなったりすることもあり得る。

■第5回作業部会の概要(その2)

2. 分科会 ※分科会の作業結果は最後のページに記載

Aグループは、大同工業大学の鷺見哲也准教授、名古屋大学大学院の戸田祐嗣准教授、Bグループは、名古屋大学大学院の辻本哲郎教授、名古屋工業大学大学院の秀島栄三准教授、Cグループは、群馬大学の片田敏孝教授、愛知工業大学の小池則満准教授を迎え、複合型災害による外力の確認や広域避難オペレーションに関する議論を行いました。



Aグループのワークショップの様子



Bグループのワークショップの様子



Cグループのワークショップの様子





政策立案に応える技術パッケージ

- プロセスのあり方や合議して思考する技術（筋が通っているプロセス）
- 政策～計画（未来の方針）を論理的に立案する技術

そのような技術パッケージがほしい



政策立案に応える技術パッケージ

道路交通需要予測の 理論と適用

おそらく土木計画学で
最大に社会に寄与して
いる技術のパッケージ



政策立案に応える技術パッケージ

- プロセスのあり方や合議して思考する技術(筋が通っているプロセス)
- 政策～計画(未来の方針)を論理的に立案する技術

PCM (FACID)

BSC

ロジックモデル

四面会議

デルファイ法

ブレインストーミング諸手法

...



MOT(技術経営)の視点から

- 職人的な暗黙知ではない技術の伝達
- 技術の市場化



- 胡散臭い予言者
にならないために...
- これからも多くの
のニーズが...

先が読めない将来に対する意見の陳述
コーディネーション(ファシリテーション)



政策立案・計画策定のプロセス(前半終了)